

自立支援協議会だより



▲自立支援協議会
ホームページ

『性教育』という言葉をお聴くと、どんなイメージをされますか？

世代や受けてきた教育により、一人ひとり違うイメージを持たれると思います。子どもへの性教育が大事とわかっていても、戸惑いを持たれる方も多く、何から始めたら・伝えたらいいかわからない、という声もよく聞かれます。助産師である私が、一昨年より島内の小学校で、保護者の方や先生方にお伝えしてきた『包括的性教育』についてご紹介します。

日本では性教育と聞くと性行為そのものや、命の大事さを伝えるイメージが強いと思いますが、国際的には人権や人間関係を学ぶところからスタートしています。ジェンダー平等や性の多様性まで含む学びが包括的性教育です。

世界での教育は5歳から段階的に始まっています（ヨーロッパでは0歳からがスタンダードです）。その学びの中でも、自分の権利や、対等な人間関係を学んでいきます。仲が良くても、親子でも、教師と生徒でも、本当はされて嫌なこと、したくないことを言えなかったりしませんか。また、良かれと思って言った一言が相手を傷つけてしまったり、大人の世界でもこういったことがあるかと思えます。大切な自分や相手の身体と心を守るためには、幼少期から人権をベースにした対等な人間関係の作り方を学んでいく必要があります。

最近では「プライベートゾーン（水着で隠れる部分）」は触れさせてはダメ、という教育が広がっていますが、本来は身体のだんな部位でも、自分の身体が触られるのが嫌なときは嫌と伝えてもいいのです。身体だけではなく、心にも人によって触れてほしくない部分があったり、この人には話せるけど、この人には嫌だな、という境界線が誰にでもあるはずです。その境界線が守られることが安心の土台となり、自己肯定感や自己決定できる力に繋がっていきます。

子ども達に向けた『からだの教室』や、大人に向けた講演や勉強会を開催しています。性教育は人権教育。まずは大人から学んでいきましょー！

包括的性教育とは？

- | | | |
|-----------------|--------------------------|------------------|
| 1 人間関係 | 2 価値観、人権、文化
セクシュアリティ | 3 ジェンダーの理解 |
| 4 暴力と安全確保 | 5 健康とウェルビーイング（幸福）のためのスキル | |
| 6 人間のからだ
と発達 | 7 セクシュアリティと
性行動 | 8 性と生殖に
関する健康 |

日本の性教育は主に⑥⑦⑧が重視されている

※ユネスコが中心となり作成された「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」で示されている性教育における標準的な指針。

